

医療機関名	内科・小児科 西医院			開設者もしくは管理者(医師名)		西 一夫	
所在地	〒	708-1125	津山市高野本郷1274-1				
TEL	0868-26-5522			FAX	0868-26-5549		
E-mail	tfpc893@yahoo.co.jp			ホームページ			
診療科	内科・小児科						
病床数	一般	0	床	療養	0	床	
診療日及び 診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土
	午前	9:00～12:00	9:00～12:00	9:00～12:00	9:00～12:00	9:00～12:00	9:00～12:00
	午後	16:00～18:00	16:00～18:00	16:00～18:00	—	16:00～18:00	—
訪問診療日及び 訪問診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土
	午前						
	午後	13:30～14:30		13:30～14:30		13:30～14:30	
相談窓口							
担当部署名	事務長			担当者名	豊田 朋美		
TEL	0868-26-5522			FAX	0868-26-5549		
E-mail							
サービス担当者会議への取組(可能なものに○を記入してください。)				参加している職種(可能なものに○を記入してください。)			
○	貴医療機関で	(15)	分程度なら可能	医師	看護師	MSW	PT・OT・ST 薬剤師 栄養士 その他 ()
	患者宅で	()	分程度なら可能	医師	看護師	MSW	PT・OT・ST 薬剤師 栄養士 その他 ()
	FAX等での指示						
入退院時カンファレンスへの出席(該当するものに○を記入してください。)				参加している職種(可能なものに○を記入してください。)			
	出席できる	()	分程度なら可能	医師	看護師	MSW	PT・OT・ST 薬剤師 栄養士 その他 ()
	都合が合えば出席できる	()	分程度なら可能	医師	看護師	MSW	PT・OT・ST 薬剤師 栄養士 その他 ()
	出席は困難						
ケアマネと医師との面談方法(可能なものに○を記入してください。)							
直接面談	往診同席	外来同席	電話連絡	FAX連絡	メール連絡	その他(具体的に記入)	
○	○	○	○	○			
主治医が面談等の対応が比較的可能な時間帯							
曜日	月	火	水	木	金	土	要相談
時間帯							○
訪問診療	(○)	している	年間 実 (22) 人程度				
	()	していない	主なエリア	医院周辺部			
在宅療養をしている 人への往診	(○)	している	主なエリア	医院周辺部			
	()	していない					
在宅患者の看取りについて (昨年実績)		(○)	している	()			していない
		自宅	0	人	特養	0	人
在宅療養支援診療所の届出		()	在宅療養支援診療所(1)				
		()	在宅療養支援診療所(2)				
		()	在宅療養支援診療所(3)				
		(○)	していない				

訪問診療での対応について 要相談○、受入不可×のいずれかをご記入ください。			
項 目		項 目	
×	経鼻胃管の方	×	人工呼吸器装着の方
○	胃ろうの方	○	痰の吸引が必要な方
×	腸ろうの方	×	気管切開をしている方
×	ストーマの方	×	化学療法を必要とする方 可能な範囲()
○	尿道カテーテルの方	×	創傷処置が必要な方(抜糸・抜鉤、ガーゼ交換)
×	膀胱ろうの方	×	比較的単純骨折の方 (術後または保存的治療でリハビリを要しないもの)
×	腎ろうの方	×	人工透析の方
×	ドレーン挿入を行っている方(PTCD)	×	褥瘡ケアが必要な方
×	ドレーン挿入を行っている方(胸腔)	×	ターミナル期の方
×	ドレーン挿入を行っている方(腹腔)	×	緩和のための麻薬使用の方
×	ポート(静脈リザーバー)を設置している方	○	認知症の方
×	TPNをしている方	×	精神疾患の方
○	在宅酸素療法の方		
入院受入れについて(有床診療所のみ) 要相談○、受入不可×のいずれかをご記入ください。			
項 目		項 目	
	経鼻胃管の方		人工呼吸器装着の方
	胃ろう・腸ろうの造設		痰の吸引が必要な方
	胃ろう・腸ろうの交換		気管切開をしている方
	ストーマの方		化学療法を必要とする方
	尿道カテーテルの方		創傷処置が必要な方(抜糸・抜鉤、ガーゼ交換)
	膀胱ろうの方		比較的単純骨折の方 (術後または保存的治療でリハビリを要しないもの)
	腎ろうの方		人工透析の方
	ドレーン挿入を行っている方(PTCD)		褥瘡ケアが必要な方
	ドレーン挿入を行っている方(胸腔)		ターミナル期の方
	ドレーン挿入を行っている方(腹腔)		緩和のための麻薬の使用
	ポート(静脈リザーバー)を使用している方		認知症の方
	TPNをしている方		精神疾患の方
	物理療法		作業療法
	理学療法		えん下・言語療法
病院のPR等、お書きください。			